

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 東京コスモス電機株式会社  
 コード番号 6772 URL <http://www.tocos-j.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 寺田 実  
 (氏名) 島崎 雅尚

TEL 03-3255-3917

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,205	△44.2	△72	—	△75	—	△60	—
21年3月期第1四半期	2,160	—	126	—	109	—	66	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△3.82	—
21年3月期第1四半期	4.22	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	7,894	2,498	31.4	157.96
21年3月期	7,549	2,566	33.8	162.20

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,481百万円 21年3月期 2,548百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	2.00	2.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	2,900	△34.0	10	△95.5	0	—	0	—	0.00
連結累計期間	6,700	△8.7	220	238.0	200	79.5	120	—	7.64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 15,812,500株 21年3月期 15,812,500株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 101,454株 21年3月期 100,871株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 15,711,301株 21年3月期第1四半期 15,723,961株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な規模の景気後退のなかで、大企業を中心とした在庫調整が進み、生産回復の兆しは見え始めているものの、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷のほか、企業の設備投資は低水準で推移しており、本格的な需要回復には至らず、今後も先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

このような情勢下にあつて当社グループは、受注拡大を最優先に、新時代に則した製販一体の体制構築に取り組みをしてまいりました。

しかしながら、当社グループを取り巻く市場環境は厳しく、当第1四半期の売上高は12億5百万円（前年同期比44.2%減）となりました。

利益面につきましては、営業損失は7千2百万円（前年同期営業利益1億2千6百万円）、経常損失は7千5百万円（前年同期経常利益1億9百万円）、四半期純損失は60百万円（前年同期四半期純利益6千6百万円）となりました。

## ① 事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

## [可変抵抗器]

可変抵抗器は、福祉機器向けに新製品の販売を開始し好評を得ましたが、製造装置、工作機械等の設備関連の需要低迷を受け減少しました。トリマ関連は、F A関連を中心に需要低迷を受け減少しました。

その結果、売上高は5億2千4百万円（前年同期比44.5%減）、営業利益6千万円（前年同期比61.2%減）となりました。

## [自動車用電装センサ]

自動車用電装センサは、車両メーカー各社の在庫調整も進み、環境対応車および中国市場の立ち上がりにより復調の兆しはありますが、未だにその影響は少なく需要低迷を受け減少しました。

その結果、売上高は4億9千4百万円（前年同期比36.4%減）、営業利益4百万円（前年同期比93.8%減）となりました。

## [面状発熱体]

面状発熱体は、一部環境対応車に採用されましたが、グローバル展開に伴う競争の激化と、世界的な自動車不況により、大幅に減少しました。

その結果、売上高は1億3百万円（前年同期比48.8%減）、営業損失1千5百万円（前年同期営業損失4百万円）となりました。

## [その他]

北米向け携帯電話基地局用アンプのトリマキャパシタの需要減少及び在庫調整のため、大きく落ち込みました。また、世界同時不況の影響で設備投資が減少したことでF A向け混成集積回路及び光電変換素子が減少しました。

その結果、売上高は8千2百万円（前年同期比65.2%減）、営業損失4百万円（前年同期営業利益6百万円）となりました。

## ② 事業の所在地別セグメントの概況は次のとおりであります。

## [日本地域]

可変抵抗器は、設備投資関連およびトリマ関連ともに低迷し売上高は減少しました。自動車用部品は、在庫調整の影響等があり減少しました。売上高11億8千3百万円（前年同期比44.2%減）、営業利益3千1百万円（前年同期比84.5%減）となりました。

## [アジア地域]

中国を中心としたアジア経済は、復調の兆しはありますが、未だ売上に寄与しておらず、売上高1億9千7百万円（前年同期比42.0%減）、営業利益8百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

## [アメリカ地域]

世界的な規模の景気後退のなかで、米国経済も回復の兆しが見えず、可変抵抗器は減少となり、また面状発熱体も自動車業界の不況の影響が強く、売上高3千5百万円（前年同期比60.2%減）、営業損失2百万円（前年同期営業利益7百万円）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態の分析

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億4千4百万円増加し、78億9千4百万円となりました。これは主に、現金預金が2億5千4百万円および受取手形及び売掛金が1億3千万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億1千2百万円増加し、53億9千5百万円となりました。これは主に、短期借入金が1億7千4百万円減少しましたが、社債が3億4千5百万円、並びに長期借入金が2億1千1百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6千7百万円減少し、24億9千8百万円となりました。これは主に、当四半期純損失6千万円を計上したためであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ、2億5千3百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には、14億円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果支払われた資金は1億4千6百万円(前年同期得られた資金は6千1百万円)となりました。

収入の主な内訳は、減価償却費7千万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失7千8百万円、売上債権の増加額1億2千9百万円、仕入債務の減少額1億1百万円等であります。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1千1百万円(前年同期1億1千万円の支出)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出1千万円によるものであります。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は4億1千8百万円(前年同期比542.2%増)となりました。

これは、主に長期借入金の借入による収入が4億3千万円、返済による支出が1億7千4百万円並びに社債の発行による収入4億3千万円、償還による支出3千万円によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に発表した平成22年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は変更しておりません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

## ② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,891,825	1,637,371
受取手形及び売掛金	1,256,983	1,126,708
商品及び製品	299,797	276,092
仕掛品	128,941	115,246
原材料及び貯蔵品	378,984	413,977
繰延税金資産	101,297	108,703
その他	157,000	222,072
貸倒引当金	△6,127	△6,209
流動資産合計	4,208,703	3,893,962
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,535,112	1,535,112
その他(純額)	1,255,192	1,317,029
有形固定資産合計	2,790,304	2,852,141
無形固定資産	19,424	20,134
投資その他の資産	854,930	782,347
固定資産合計	3,664,659	3,654,624
繰延資産	20,701	863
資産合計	7,894,064	7,549,450

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	579,022	680,714
短期借入金	1,051,283	1,226,074
リース債務	55,488	55,488
未払法人税等	21,359	15,472
賞与引当金	39,570	37,354
役員賞与引当金	765	765
その他	356,055	248,288
流動負債合計	2,103,544	2,264,157
固定負債		
社債	425,000	80,000
長期借入金	1,572,081	1,360,951
リース債務	142,287	156,159
繰延税金負債	2,552	1,666
退職給付引当金	559,500	533,214
役員退職慰労引当金	74,180	70,580
再評価に係る繰延税金負債	453,539	453,539
その他	62,835	63,167
固定負債合計	3,291,976	2,719,278
負債合計	5,395,520	4,983,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,277,000	1,277,000
資本剰余金	33	33
利益剰余金	695,087	786,573
自己株式	△18,259	△18,215
株主資本合計	1,953,861	2,045,391
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△36,648	△67,718
繰延ヘッジ損益	△225	△425
土地再評価差額金	679,481	679,481
為替換算調整勘定	△114,751	△108,297
評価・換算差額等合計	527,855	503,041
少数株主持分	16,826	17,581
純資産合計	2,498,543	2,566,014
負債純資産合計	7,894,064	7,549,450

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,160,970	1,205,042
売上原価	1,677,307	982,621
売上総利益	483,662	222,420
販売費及び一般管理費	357,002	295,147
営業利益又は営業損失(△)	126,660	△72,726
営業外収益		
受取利息	1,408	296
受取配当金	3,712	2,460
為替差益	—	11,278
その他	14,427	12,022
営業外収益合計	19,548	26,057
営業外費用		
支払利息	13,091	15,314
為替差損	14,066	8,083
その他	9,244	5,501
営業外費用合計	36,402	28,899
経常利益又は経常損失(△)	109,806	△75,569
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,250	—
その他	121	—
特別利益合計	3,372	—
特別損失		
固定資産除却損	587	38
投資有価証券評価損	—	1,000
役員退職慰労金	—	1,560
特別損失合計	587	2,598
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	112,590	△78,167
法人税、住民税及び事業税	42,619	17,621
法人税等調整額	3,208	△34,645
法人税等合計	45,828	△17,023
少数株主利益又は少数株主損失(△)	360	△1,109
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66,401	△60,034

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	112,590	△78,167
減価償却費	77,158	70,343
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,149	2,236
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,250	△465
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17,046	26,285
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,600	3,600
受取利息及び受取配当金	△5,120	△2,756
支払利息	13,091	15,314
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,000
有形固定資産除却損	587	38
売上債権の増減額(△は増加)	79,079	△129,442
たな卸資産の増減額(△は増加)	△49,999	△2,875
仕入債務の増減額(△は減少)	△53,180	△101,708
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,979	6,119
その他	23,948	68,733
小計	217,720	△121,746
利息及び配当金の受取額	5,136	2,758
利息の支払額	△13,091	△16,025
法人税等の支払額	△147,826	△11,778
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,938	△146,792
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△186,506	△13,545
定期預金の払戻による収入	139,911	12,913
有形固定資産の取得による支出	△58,043	△10,610
貸付けによる支出	—	△4,000
貸付金の回収による収入	3,117	3,359
投資有価証券の取得による支出	△566	△472
その他	△8,583	1,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,671	△11,022
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	61,250	△219,200
長期借入れによる収入	219,150	430,000
長期借入金の返済による支出	△178,849	△174,461
社債の発行による収入	—	430,054
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
自己株式の取得による支出	△185	△44
配当金の支払額	△6,104	△3,949
少数株主への配当金の支払額	△103	△103
リース債務の返済による支出	—	△13,872
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,157	418,423
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,049	△6,784
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	33,474	253,823
現金及び現金同等物の期首残高	1,103,093	1,146,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,136,568	1,400,435



## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）  
該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## ①事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 ～ 至 平成20年6月30日）（単位：千円）

区 分	可変抵抗器	自動車用電装 センサ	面状発熱体	その他	計	消去または 全社	連結
売上高	945,469	777,562	202,518	235,419	2,160,970	—	2,160,970
営業利益又は営業損失(△)	156,135	78,823	△4,435	6,063	236,586	(109,925)	126,660

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各区分の主な製品

- (1) 可変抵抗器 産業機器用、民生機器用の特殊級・普通級可変抵抗器及び半固定抵抗器  
(2) 自動車用電装センサ 自動車用ポジションセンサ、角度センサ及びトルクセンサ  
(3) 面状発熱体 自動車用サイドミラー、健康医療機器  
(4) その他 各種スイッチ、ICソケット、カメラ用演算回路、光電変換素子、レーザートリマ等

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）（単位：千円）

区 分	可変抵抗器	自動車用 電装センサ	面状発熱体	その他	計	消去または 全社	連結
売上高	524,804	494,563	103,641	82,033	1,205,042	—	1,205,042
営業利益又は営業損失(△)	60,505	4,887	△15,509	△4,397	45,486	(118,213)	△72,726

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各区分の主な製品

- (1) 可変抵抗器 産業機器用、民生機器用の特殊級・普通級可変抵抗器及び半固定抵抗器  
(2) 自動車用電装センサ 自動車用ポジションセンサ、角度センサ及びトルクセンサ  
(3) 面状発熱体 自動車用サイドミラー、健康医療機器  
(4) その他 各種スイッチ、ICソケット、カメラ用演算回路、光電変換素子、レーザートリマ等

## ②所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 ～ 至 平成20年6月30日）（単位：千円）

区 分	日本	アジア	アメリカ	計	消去または 全社	連結
売上高	2,119,515	340,383	88,814	2,548,713	(387,742)	2,160,970
営業利益	203,667	21,598	7,617	232,883	(106,222)	126,660

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

## 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域

- (1) アジア … 韓国・台湾・マレーシア・タイ 他  
(2) アメリカ… 北米 他

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）（単位：千円）

区 分	日本	アジア	アメリカ	計	消去または 全社	連結
売上高	1,183,331	197,506	35,332	1,416,170	(211,128)	1,205,042
営業利益又は営業損失(△)	31,613	8,245	△2,230	37,628	(110,355)	△72,726

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

## 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域

- (1) アジア … 韓国・台湾・マレーシア・タイ 他  
(2) アメリカ… 北米 他

## ③海外売上高

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 ~ 至 平成20年6月30日 )

区 分	アジア他	アメリカ	その他	計
I 海外売上高(千円)	367,767	88,814	63,381	519,963
II 連結売上高(千円)	—	—	—	2,160,970
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.0	4.1	2.9	24.1

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域

- (1) アジア他 … 韓国・台湾・マレーシア・タイ及びオーストラリア 他  
(2) アメリカ… 北米 他  
(3) その他…… ドイツ・イギリス 他

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日 )

区 分	アジア他	アメリカ	その他	計
I 海外売上高(千円)	222,791	35,332	58,602	316,726
II 連結売上高(千円)	—	—	—	1,205,042
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	18.5	2.9	4.9	26.3

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域

- (1) アジア他… 韓国・台湾・マレーシア・タイ及びオーストラリア 他  
(2) アメリカ… 北米 他  
(3) その他…… ドイツ・イギリス 他

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日 )

該当事項はありません。